

令和 3 年 10 月 14 日

進路指導ご担当者様
高大連携ご担当者様

宇都宮大学地域デザイン科学部
高大接続 WG

「秋の模擬ゼミ」についてのご案内

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を預かり、厚く御礼申し上げます。

さて、宇都宮大学地域デザイン科学部では 9 月 20 日（月祝）に「夏の模擬ゼミ」として生徒の皆様が大学の学びを少人数で体験してもらうという企画を実施しました。残念ながらオンラインでの実施となりましたが、参加していただいた生徒の皆様、また各校の先生方からは大変好評をいただきました。一方で、生徒の皆様からは、次はぜひ大学で実際にゼミや講義を体験したい、という要望が多く寄せられておりました。

そこで、11 月 3 日（水祝）午前にオープンキャンパスが開催されることに合せ、同日午後に大学を会場として、本学部の 3 学科の大学生（大学院生）と共に改めて大学のゼミを体験してもらおうと考えております。今回もそれぞれ設定されたテーマについて事前学習・ディスカッションを行います。これにより、生徒の皆様が大学での学びをより具体的にイメージでき、また、進学への意欲の増進にも寄与できるのではないかと考えております。

もちろん、今回初めてご参加でも、夏に引き続きのご参加でも、どちらでも新たな発見があるのではないかと思います。今回も少人数でのゼミを開催するという内容のため、限られた人数となってしまいますが、ぜひご参加をご検討いただけますと幸甚に存じます。

記

1. 日程

- ・ 11 月 3 日（水祝）13 時 30 分～15 時 30 分
- ・ 宇都宮大学陽東キャンパス 11 号館（詳細な場所は別途通知します）

2. 内容

- ・ 担当教員及びテーマは以下の通りです。
 - 1) 中川敦（コミュニティデザイン学科・福祉社会学）「高齢者介護におけるコミュニケーションデザイン」
 - 2) 古賀誉章（建築都市デザイン学科・建築安全学）「学校の環境を点検してみる」
 - 3) 丸岡正知（社会基盤デザイン学科・コンクリート工学）「実験で確かめる社会基盤に求められる能力」

※「社会基盤」の説明については別紙もご覧ください。

※施設見学もあります。

- ・1ゼミを最大15名程度とするため、1校からの申込みは1ゼミあたり2～3名の参加とさせていただきます。1校で複数のゼミにお申し込みいただくのは問題ございません。
- ・テーマに関する具体的な内容については別途お知らせします。なお、テーマが変更されることもあります。その際も速やかにお知らせいたします。

3. 参加申込みについて

- ・参加をご希望の場合、期間が短く恐縮ですが、**10月25日(月)**までにご希望のゼミ名と参加生徒の人数を若園宛にご連絡ください(連絡先は下記)。なお、定員に達し次第締切といたします。
- ・参加にあたっては、各参加者に「健康チェックシートの提出」「感染対策の徹底」「本学ガイドラインの遵守」をお願いしております。チェックシートではイベントの2週間前(10月20日(水))以降の検温記録が必要となりますので、ご準備ください。また、イベント終了後14日以内に体調不良があった場合は速やかに担当者(高校および宇都宮大学)に届け出てください。
- ・大変申し訳ございませんが、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が実施されている区域からの参加はできません。また、今後の感染拡大状況によっては、大学での判断により本イベントをオンラインにて実施、あるいは中止することもございます。あらかじめご了承ください。

以上

< 申込 >

宇都宮大学地域デザイン科学部・若園

Eメール：pontono@cc.utsunomiya-u.ac.jp

Tel (研究室直通)：028-689-7184

< 問い合わせ >

若園(上記)または地域デザイン科学部総務係

Eメール：rdo@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

Tel：028-689-6232 (担当・山田)



社会基盤デザイン学科



インフラ 社会資本と 土木工学

社会資本（インフラ、infra）とは、私たちの社会経済活動を支える道路・交通安全施設、鉄道、河川、港湾・空港、上下水道、公園などの公共施設のことです。私たちの生活を守り、生活を豊かにする様々な施設である社会資本について専門とする学問が土木工学（Civil Engineering）になります。社会基盤デザイン学科（Department of Civil Engineering and Regional Design）では、学部4年間（十大学院2年間）を通して社会資本の整備における調査、計画、設計、施工ならびに維持・管理に必要な知識や技術である土木工学とその関連分野について学びます。

まちづくり

豊かな社会活動を
続けられるまちづくり

安心・安全・快適な社会を実現して、より良い豊かな暮らしを営むためには上下水道・電気・ガス・通信設備などのライフラインの整備や、公園整備・自然環境保全・街並みの保存や再生など、住民参加型の仕組みづくりが必要です。

生活産業基盤

生活を直接支える産業基盤

生活や産業の持続的な発展に欠かせない電力源となる発電所、農業・工業で利用される水源、食・住に直接関わる農業・林業・水産業など人の社会活動を継続するために不可欠な多くの産業を支える基盤づくりが求められています。

道路

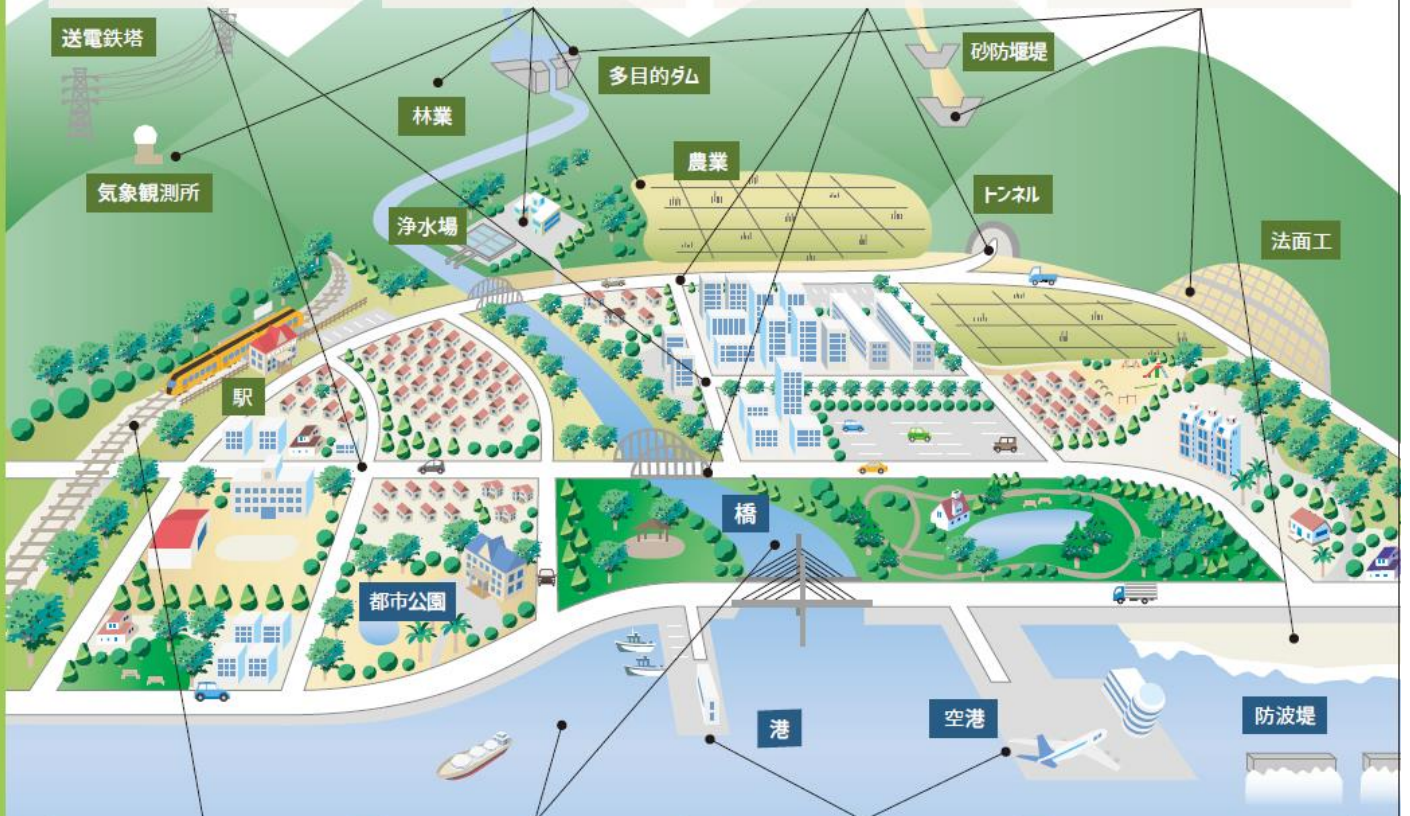
人の生活や社会・
経済活動を支える

身近な生活道路、街区の区画道路トンネルや橋梁を含めた地域を結ぶ幹線道路や高速道路など通勤・通学、物流、観光などの日常生活や経済活動を支える道の整備・維持が求められています。

防災

市民の生命や財産を守り
社会を迅速に立ち直らせる

地震、洪水、土砂災害、火山噴火、豪雪等、自然災害等から市民の生命や財産を守り、社会が被害から迅速に立ち直るためには、災害を防ぐハード面の整備と計画策定などのソフト面での対策が必要です。



鉄道

環境や社会に優しい
大量輸送機関

新幹線をはじめ身近な鉄道、地下鉄、路面電車など、時間に正確で速く人や物資を大量輸送でき、かつ省エネルギーで環境にやさしい輸送手段として期待されています。

河川・海岸

利水・治水・環境

水道水や農業用水、発電等への利水や、台風や豪雨による氾濫、津波、高潮などの水害を防ぐための治水、親水空間として快適な河川・海岸環境を整備することが必要となります。

港・空港

海と空から社会を繋ぐ

日本の国際競争力の強化と国民生活の質の向上に向けて、輸出入の増加や地域・国際間交流の活性化、外国人観光客の増加を行うため、輸送力強化に向けた港湾・空港整備が重要になります。

SDGsと土木

SDGs（持続可能な開発目標）と社会資本整備・土木工学は密接に関係しています。



※社会基盤デザイン学科のHPは検索サイトで「宇都宮大学 社会基盤デザイン学科」と入力して検索してください。